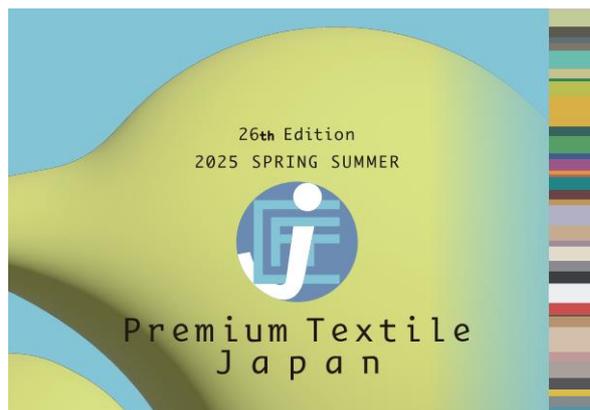


Premium Textile Japan

2025 Spring/Summer 概要



- 展示会名：第 26 回 Premium Textile Japan 2025 Spring/Summer
- 会期：2024 年 5 月 9 日 (木) - 10 日 (金)
- 会場：東京国際フォーラム ホール E 1 (3,000 m²)
- 主催：一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構 (JFW)
- 後援：経済産業省、外務省、知的財産戦略本部、独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO)、独立行政法人中小企業基盤整備機構、東京都、日本商工会議所、日本繊維産業連盟、日本化学繊維協会、一般財団法人日本ファッション協会、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会、一般財団法人ファッション産業人材育成機構、一般社団法人日本百貨店協会、日本繊維輸出組合、日本繊維輸入組合、日本ジーンズ協議会
- 来場者：バイヤー及び招待者、業界関係者、学生 <Web 事前登録者に限定>

出展エントリー数：70 件 92.5 小間 *出展者リスト・会場図面 別添参照

	件数	小間数	内 新規
国内	59 件	79.5 小間	5 件 / 6 小間
海外	11 件	13 小間	3 件 / 4 小間
合計	70 件	92.5 小間	8 件 / 10 小間

<新規出展者：8 社> KIRARI(株)、大松(株)、西田通商(株)、(株)ファイワン、(株)ROKAL、DALIAN EXE TRADE CO., LTD. / China、INTIMITI AUSTRALIA PTY LTD / Australia、PAKA INTERTEX CO., LTD./Korea

<復活出展者：3 社> (株)サンウェル、(株)シャンプレー、HANGZHOU MEHO SILK CO., LTD. / China

■ 関連プログラム

- 2025SS シーズン [トレンド&インデックス]コーナー
- 特別企画『What's Next』コーナー
- JFW テキスタイル・オンラインサロン (JTO)

Photo:2023 年 5 月開催



■ [トレンド&インデックス]コーナー

ミラノ～上海で発表した 2025S/S ジャパン・トレンドの最終発表の場となる PTJSS 展。
空間構成のテーマは「多様性」

今年はパリ五輪もあり、新しい時代幕開け。新しい価値感や多様性のあり方を再認識し未来を直感的に感じる気持ちや感情を表現します。価値感の多様をイメージし、たくさんの色を繰り返し使って環境を構築、グラフィックモチーフとの組合せで五感に訴える「フィーリング」を発信します。PTJ 展では、『What's Next』コーナー など関連イベントコーナーのプランとも連携し、空間演出します。

□JFW テキスタイルビュー（ジャパンテキスタイルトレンド）

◇ 2025 S/S 外観：〈あらゆる角度から接点を持つ〉

不確実で先の見えない今日の世界において平等で安全な環境が必要です。そしてより優しくより思慮深い未来を築くために多様で新しい価値感を共有し接点を持つ事が重要です。

お互いを認め刺激し合い受け入れます。そして自然との繋がりを大切に、地球を守り、より感性豊かな人々が社会に生まれ育ちますように。今までに無かった新しい方法や解決策を創造する姿勢が重要です。

◇ 全体的カラー：

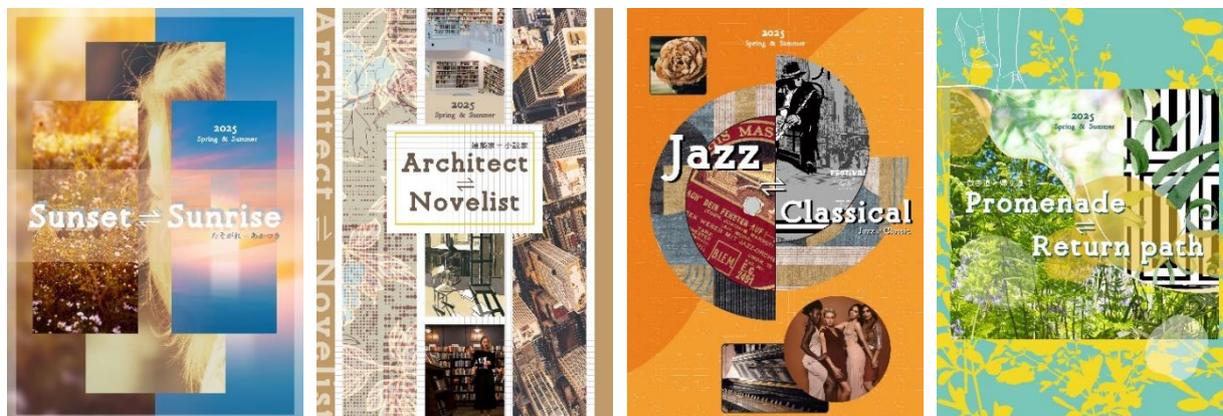
2025 年春夏の全体傾向は優しさとせつなさ、心地よさ、活力、爽やかさが感じられるカラー。

自然をいたわりさりげない透明感や洗練感を大切にしたいフィーリングカラーで展開。

◇2025 Spring/Summer（テーマ）：

たそがれ ⇨あかつき - Sunset ⇨Sunrise - 建築家 ⇨小説家 - Architect ⇨Novelist -

Jazz ⇨Classic - Jazz ⇨Classical - 散歩道 ⇨ 帰り道 - Promenade ⇨Return path-



■ 特別企画『What's Next』コーナー

◇ 「What's Next」-Textile - 「次の売れ筋となるテキスタイル」の魅力を啓発

出展者の「What's Next」素材を JFW テキスタイル展の会場内の特設コーナーで展示し、来場者が「次の売れ筋テキスタイル」を評価する人気投票を行います。テキスタイルのトレンド性・感性・技術・意匠・風合い・マーケティング性・好みなど、投票者の自由な観点で選びながら、出展者の素材のすばらしさ、可能性を発見して頂く参加型のコーナーです。

昨年の PTJ（2024 S/S 展-2023 年 5 月開催）でスタートしたこの企画も、第 3 回目の開催となります。

今回は、39 社から 98 点の応募がありました。審査を通過した、35 社/35 点の生地を会場で展示します。

赤堀産業株式会社

株式会社アルテックス

糸の音

宇仁繊維株式会社

小原屋繊維株式会社

カイハラ株式会社

株式会社カゲヤマ

KIRARI 株式会社

国島株式会社

有限会社クロスジャパン

コスモテキスタイル株式会社

齋榮織物株式会社-SAIEI SILK

桜井商店

ササキセルム株式会社

株式会社サンウェル

山陽染工株式会社

サン・ルック株式会社

滋賀麻工業株式会社

第一織物株式会社

東レ株式会社

日本蚕毛染色株式会社

株式会社リタケ

株式会社長谷川商店

株式会社ファイブワン

古橋織布有限会社

Mipox 株式会社

溝呂木株式会社

株式会社モエラン スタジオ

レインボーワールド株式会社

株式会社 ROKAL

CALIK DENIM TEKSTIL SANAYI VE TICARET A.S. / Turkey

DALIAN EXE TRADE CO., LTD. / China

HANGZHOU MEHO SILK CO., LTD. / China

SFT Inc. (Samsung Fashion & Textiles) / Korea

Stella Blu Textile Limited / Hong Kong

◇ 「What's Next」 -Sustainable- 「今私が着ている服」

従来のサステナブル素材を集積したコーナー展開は、啓発の初期目標を達成したため、素材展示は、トレンド&インデックスコーナーでのサステナブル分類下げ札で表示することに集約します。

今回より、日本国内における旬なサステナブルの取り組み事例や提言、トピックスやニュースを取り上げ、JFW テキスタイル展を通じて繊維業界へ発信していきます。

今回のPTJ展では、一般社団法人 unisteps が提言する「ファッション・アパレル産業のサステナビリティの今を知る展示」を紹介します。

いま私が着ている服、あなたが着ている服は、どこから来てどこへいくのか。どのように生産され、どのように廃棄されていくのか。「代表的な素材の原料」と「10 年間の変化で服のカたちからは見えてこない、ファッション産業を取り巻く状況の変遷を可視化し、ファッションと自然環境の繋がり、ファッションの労働環境、人と服の関係性、さまざまな情報で構成されたインフォグラフィックパネル」を展示して紹介します。

FASHION REVOLUTION:

FASHION REVOLUTION は、ファッション産業の変革を促すキャンペーンとして始まり、その後世界的なムーブメントとなった。

2013 年に発生したラナ・プラザ崩落事故の直後、キャリー・ソマーズとオルソラ・デ・カストロという 2 人のデザイナーを中心に設立され、ファッションが人や環境に与える影響を知った上で、調達・生産・消費、すべての段階における透明性を高めることを指針に、ファッション産業を持続可能な産業へと変革することを目指して活動が進められてきている。イギリスに本部を構え、約 75 カ国が活発に活動している。FASHION REVOLUTION JAPAN の運営は、一般社団法人 unisteps が担っている。



展示イメージ：

FASHION REVOLUTION JAPAN インスタグラム @fashionrevolutionjapan

- 新規出展の一部を紹介します。

●大松／開発素材をアピール

大松は、プリント、刺繍、ジャガードなど意匠性の高い素材への幅広い対応力があり、在庫リスクも強みです。デシンサンディングはシルク（40%）とレーヨン（60%）の交織織物です。サンドウォッシュで仕上げましたが、ウォッシュ感が強すぎずエレガント過ぎないことを狙った超ロングラン素材です。無地在庫があり、プリント別注も可能です。ビスコース綿のリップストップは、綿素材やナイロン素材にはない薄地で適度な透け感が特徴です。プリント下地としても優れ、P 下在庫リスクもしています。ポリエステル 100%の融着タイプライターは、熱融着糸の特性を活かして高密度感を表現しました。リサイクル糸使用率は 81%です。特殊な起毛加工 + タンブラー仕上げにより弱ピーチ仕上げで適度にハリ感を抑えています。「販路開拓(来日海外ブランド含む)、自社のスタンス及び開発素材をアピール」するため、初出展します。



●西田通商／総合ブック帳にまとめる

西田通商も初出展です。国産と中国産シルクあるいはシルク混生地を総合ブック帳にまとめて提案しています。国内機屋と中国工場に直接発注するため、価格競争力があります。92 ㌻巾の薄手スカーフ生地から厚手服地まで幅広く対応します。

今回紹介する 4.5 ㌻シルクオーガンジは、国産先染めシルクで、雑貨、帽子、造花などに幅広く使われています。絹紡 TOP 天竺は中国でトップ染めしており、インナーやパジャマが用途。カラーリスクもしています。「Secao（セカオ）」は、台湾原産のカカオ豆の殻（農業廃棄物）をパウダー状に粉碎しポリエステルチップに詰めて作った繊維です。ポリエステルチップとは別にナイロンチップに詰めた繊維もあります。試織生地は布帛、ジャージ合わせて 25 マークほどあり、カカオのリサイクル繊維としてチョコレートメーカーのノベルティに提案しています。



●KIRARI／幅広い素材をストック

PTJ に初出展する KIRARI は、化合織・再生繊維・天然繊維と、幅広い素材を全品番全色ストックし、小ロット・短期対応が可能です。現物在庫の大部分は中国上海の倉庫で管理し、中国縫製で製品を生産する顧客に安心感とスピード感を持って提供します。日本国内での商品デリバリー、他国への輸出などにも対応します。

今回出品するベーシックなアセテートサテンビンテージは、特殊な光沢後加工とビンテージ加工の組み合わせにより、ワックスやオイルを塗り込んだような深みのある艶やかな光沢感が特徴の生地です。キュプラナイロン楊柳は、緯糸にキュプラ強撚・無撚と交互に配列し、染色する際その収縮差を利用して楊柳風なランダムな凹凸感を表現しました。強撚糸使いのシャリ感を持ちつつ、シワ加工プラスフィブリン加工を施したキュプラトリプルシアーも提案します。

●ファイブワン／エンブroiderieレース

初出展のファイブワンは「生地屋が運営する刺繍工場」です。このため、扱い素材が豊富で、高い提案力によるモノ作りができます。生地専門倉庫には生地のプロが駐在しており、既存の倉庫にはない管理体制です。在庫や入出庫に関してもクラウドデータ化して管理しています。

出品するサウラー社のレース機エポカ6を使ったシングル幅エンブroiderieは、高密度の生地に、細やかなステッチの動物たちを全面に刺繍しました。刺繍の凹凸ひとつひとつを3Dで読み込み、糸に合わせて多色プリントしたことで、カラフルな動物たちを表現しました。また、30dのシフォンにインケミカル刺繍を施しました。通常の刺繍とインケミカル刺繍で様々な千鳥の表現を一つにまとめました。キルトをクロスステッチのエンブroiderieで表現したダブル幅の生地も提案します。



●ROKAL／二次加工にも強み

ROKAL は PTJ に初出展します。同社は東京に本社を置き、播州（西脇）と備中備後（児島）に産元としての拠点があります。各産元の強みを活かした営業活動ができます。また、生地の二次加工に関する生産背景とノウハウが豊富で、小ロット短期に特化した様々な加工が得意です。

今回は経緯に20単強撚糸を使用した模紗織（もじゃおり）を出品。仕上げにダブルワッシャー加工を施してシボ感を表現しつつ、物性も安定しています。透け感、シャリ感による肌離れの良さが特徴です。高密度玉虫リップシャンプレーは毛羽が少なく綺麗な40単コンパクト糸を使用しました。高密度に織り上げたリップストップは先染めで、経糸と緯糸を異なる色にして玉虫カラーを表現しました。1947年、フランス軍が採用したM-47カーゴパンツの肉厚のサージ生地もリプロダクト提案します。

